

ぼうさい通信 Vol.23



熊本県立湧心館高等学校 令和元年6月14日発行

今月のテーマは・・・「大雨、台風、風水害、土砂災害」

《ここ2年の記憶》

●【平成30年7月西日本豪雨】(6月28日～)

西日本の広範囲で記録的な大雨。死者、河川の氾濫、浸水害、大規模土砂災害等の被害。

●【平成29年7月九州北部豪雨】(6月30日～7月10日)

福岡県、大分県中心の局地的な大雨。死者、大規模土砂災害等の被害。

《急な天候の変化による大雨(ゲリラ豪雨)時の注意点》

●河川や用水路の周辺に近づかない

・大雨による河川や用水路の水かさが増し、周辺にも激しい水の流れができる。増水による側溝のフタ外れや道幅が分からず、足を踏み外して、そのまま流されて死亡することもある。

●アンダーパス(立体交差で鉄道や道路の下を掘り下げた地下道)には近づかない

・突発的な短時間の豪雨では、降雨量が都市の排水処理能力を超える。
・処理能力を超えた雨水は標高が低い場所へと流れ込むため、すぐに冠水し、車で冠水した場合には、水没した車内で溺死することもある。
・車の運転中に大雨に遭遇した場合は、冠水によりエンジンが掛からなくなるため、低い場所を避けて運転。

●地下施設から地上へ避難する

・突発的な短時間の豪雨では、地下施設が冠水し、逃げ道を失うこともある。

●大雨警報や土砂災害警戒情報発令中は、山などの急斜面に近づかない

・土砂災害はいつ、どこで、どの程度の規模で発生するかの予測が困難。
・「斜面から小石が落ちてくる」、「湧き水がにごる」など、異常があった場合は、無理に居続けず、速やかに安全や避難経路を確保したうえで避難。

●大雨、台風、風水害、土砂災害時の熊本県の防災情報

QRコードを読み込んでいざという時に確認できるようにしておこう。

「熊本県防災型統合システム」→



●過去の湧心館高校の「ぼうさい通信」

本校のHPにアクセスしてみよう。

HP <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>ぼうさい通信(毎月16日発行)